

令和6年3月6日(水) 13時30分～

◎離島創生、佐渡創生元年としての佐渡ヶ島（SDGs）集落ツーリズム構想

(1) 防災減災

- ① 震災、雪害を教訓とするハード／ソフト両面の防災減災対策
- ② アウトドア×防災の普及啓発
- ③ ライドシェア×持続可能な文化観光地域づくり

(2) 観光振興

- ① 「佐渡島（さど）の金山」の世界文化遺産登録を好機とした観光振興
- ② さどまる倶楽部10万人、関係人口100万人達成のために
- ③ 陸・海・空の交通インフラ整備
- ④ 旅館業法による宿泊に加えた民泊新法による民泊の推進

(3) 産業振興

- ① 農林水産業を活かした経済の活性化
- ② 1次・2次・3次産業の高付加価値化
- ③ ドローン、AIなどを活用したソサイエティ5.0及びDXの推進
- ④ 佐渡自動車学校の合宿免許制度導入による滞在型文化観光の推進

(4) 環境保全

- ① SDGs 未来都市、地域循環共生圏、脱炭素先行地域の推進
- ② 生物多様性保全による環境に優しい佐渡づくり

(5) 生涯活躍

- ① 子どもの教育、子育て支援、大人の生涯学習
- ② 空き家利活用等による生きがいの創出
- ③ 健康寿命日本一への進捗状況
- ④ 医療・介護・福祉の充実

(6) 総合政策

- ① 拉致問題の早期解決に向けて市民一人ひとりができること



http://hiroshimurooka.com/documentandscript_202402

【二次元コード（ごま塩のような正方形）の読み取り方】

- ① スマートフォン・タブレットのカメラか二次元コード読み取り機能を立ち上げる。
- ② 表示されたアドレス（http://・・・・・・）等の文字列を触ってみる。

令和6年2月定例会 代表質問資料

三度のメシより佐渡が好き！！！！ 政風会 代表 室岡啓史

※【出典】の記載なき画像は全て自身で撮影した写真です。

▼ 「備えあれば憂いなし」の実践



地域防災マップ (ハザードマップ)

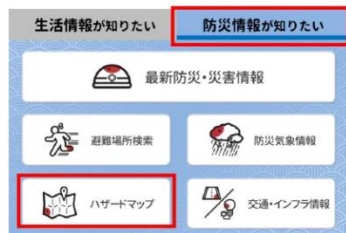
日ごろから災害に対する備えとして地域防災マップを確認いただき、ご自宅や職場などが、津波による浸水の危険がある場合は、事前に避難経路や避難場所を決めておきましょう。

また、地域防災マップに記載された非常持出品も準備しておきましょう。

なお、この地域防災マップの津波浸水エリアは「佐渡西方・能登半島北東沖」の断層や佐渡に影響が大きいとされる断層でマグニチュード7以上の地震が発生した場合を想定して作成しています。



佐渡市公式 LINE から確認いただけます



※お持ちのスマートフォンによって表示が異なる場合があります。

友だち登録は「こちら」から



強い揺れを感じたら高い所へ避難しましょう

もし強い揺れを感じた時は津波警報などの発表を待たずに、直ちに海岸や河川から離れ、より高い所へ避難してください。

事象等

とるべき行動等

地震発生

揺れがおさまるまで自分の身を守る
(机の下に隠れる、座布団で頭を保護するなど)

揺れがおさまる

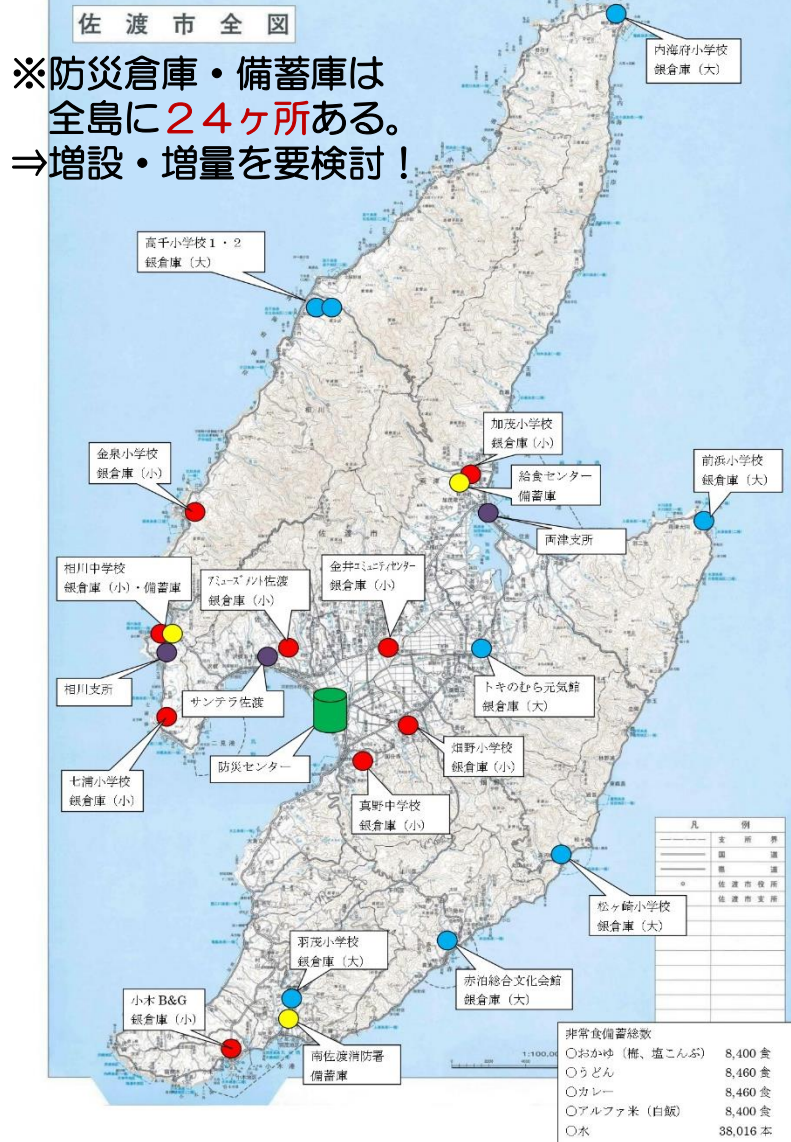
火の始末、家族の安全確認、周辺の状況確認

避難開始

周りに声を掛けながら、少しでも安全な高い所へ避難

避難完了

ここなら安全と思わず、より高い場所を目指して避難しましょう!



【出典】佐渡市総務部防災課 災害から身を守るために日頃から備えを

【出典】佐渡市総務部防災課 市内防災倉庫・備蓄庫配置図

避難所の種類 ～避難所と避難場所の違い～

避難所・避難場所の違いと種類



避難場所 (いったん逃げる場所)

- 指定緊急避難場所：自治体で決められた避難場所
- 広域避難場所：多くの人々が来られる避難場所
- 一時避難場所：一時待機用の避難場所

避難所 (避難生活できる場所)

- 指定避難所：自治体で決められた避難所
- 福祉避難所：高齢者や障害者など、配慮が必要な方用の避難所

© 2023.06.25

まとめ

- 指定避難所：滞在もできる施設
- 福祉避難所：災害時要援護者のための施設
- 指定緊急避難場所：一時的に避難する場所
- 広域避難場所：大きい避難場所
- 一時避難場所：小さい避難場所

皆さんこんにちはは災害医療大学です。

災害医療に携わりたい人なら知っておいてほしい、災害、防災に関する基礎知識のお話です。

皆さんは避難所に種類があることをご存じですか？

大津波警報発令時の緊急行動

令和6年2月10日
原黒区防災委員

- ① テレビ・ラジオなどで「大津波警報」が発令されたら直ちに 椎崎の諏訪神社 に避難。健常者は原則として徒歩、高齢者・病人・身体障害者・子供がいる場合はクルマ利用も可。
- ② 神社には組の役員・年番が待機するので代表者が一緒に避難した家族・友人・知人全員の名前を記入し安否確認する。
- ③ 原黒以外にいる場合は組の役員・年番、近所の人いずれかに自分の無事を連絡する。これは災害時の人命救助活動を円滑に行う上できわめて重要な行動です。
- ④ 避難場所としてホテルに直接行くことはやめて下さい。
建物の被害状況、宿泊客数など受け入れ態勢を確認後に 区長とホテル側で協議して決めるのでその結果を待つてください。トイレなど一時的に利用する場合は従業員に声をかけて下さい。
- ⑤ ホテル宿泊を希望する時は直接ホテルに申し込む。佐渡観光旅館連盟の災害時特別料金が適用される可能性もあります。素泊まりも可能。なお、避難場所は区民だけでなく他所の佐渡市民、島外からの観光客なども使用します。

▼震災/雪害の教訓＝アウトドア×防災



◆アウトドアエキスポ2023@万代島大かま

新潟県をアウトドアの聖地にしよう！という思いを持つ方々の汗で昨年に続き2回目の開催。日本海側最大級の外遊びの博覧会ということで、来場者は2日間で5,000人以上。ものづくりで有名な燕や三条を中心に全国から100社を超えるアウトドアメーカー等が集結し、日本一のアウトドアブランドの集積地として全国に発信するイベントとなった！

◆新潟県が推進するにいがた「アウトドア×防災」

⇒佐渡においても「アウトドア×防災」を推進すべき
新潟県内にキャンプフィールドは120か所以上、佐渡島内には約15ある。キャンプ場を活用して島内外の人達がアウトドアを経験することで、有事の際の対応力を身に付けることができる。また、他地域で発生した大地震などにはキャンプ場そのものを一時的な避難所とすることも可能となる。観光振興策、防災減災対策として有効なプロジェクトであると考えます。

▼新潟・燕三条アウトドアエキスポ2023

<https://www.west-shop.co.jp/expo2023/>

▼大田区：防災講習会「アウトドアから学ぶ防災術」

https://www.city.ota.tokyo.jp/seikatsu/chiiki/bousai/topics/bousai_kousyuukai.html



▼にいがた「アウトドア×防災」プロジェクト

<https://niigatabousai.jp/> ⇒新潟県と連携するべし！

▼パックで炊くごはん体験、防災ミニキャンプ@金井小

<https://niigatabousai.jp/report/report-3255/>



▼自主防災組織による必要器具の購入促進



▼佐渡市 自主防災組織育成補助金制度

<https://www.city.sado.niigata.jp/soshiki/2003/30148.html>

⇒1 / 2補助で活用は進んでいるのか！？

⇒市内の自主防災組織（324組織）と連携するべし！

対象となる防災資機材

区分	品名
情報収集・伝達用	ハンドマイク 携帯用無線機 携帯用ラジオ 腕章
初期消火用	消火器 水バケツ 砂袋 防火衣 ヘルメット
水防用	防雨シート スコップ ツルハシ ロープ 土のう
救出用	パール はしご のこぎり なた ジャッキ ベンチ ハンマー ロープ チェンソー エンジンカッター 一輪車 鉄パイプ 角材 防塵マスク 防塵メガネ
救護用	担架 救急セット テント 毛布 シート 簡易トイレ
避難用	強カライト 標旗 ハンドマイク 警笛 投光器 発電機
給食・給水用	コンロ 給水タンク 炊飯装置 配膳用食器
その他	簡易収納庫 リヤカー ピンロールシート 等

補助額

防災資機材整備に要する経費の2分の1の額（1団体につき100,000円を限度とし、100円未満は切り捨て）を補助します。

ただし、1団体の構成世帯数が200世帯未満の場合、佐渡市自主防災組織育成補助金交付要綱に基づき額を算出します。

▼柏崎市 自主防災組織が「宝くじ助成事業」で防災資機材を整備しました

https://www.city.kashiwazaki.lg.jp/soshikiichiran/kikikanribu/bosai_genshiryokuka/2/11/6146.html

⇒佐渡でも採択が数年に1回程あるので、さらなる採択を目指して積極的に申請し続けるべし！

自主防災組織が「宝くじ助成事業」で防災資機材を整備しました

一般財団法人自治総合センターは、コミュニティ活動の促進・発展と宝くじの社会貢献広報を目的に、コミュニティ活動に対して助成をおこなっています。

この助成事業を使って、自主防災組織が防災資機材の整備をおこないましたので報告します。



※地域防災組織育成助成事業
は30万円～最大200万円
(10万円単位) まで助成

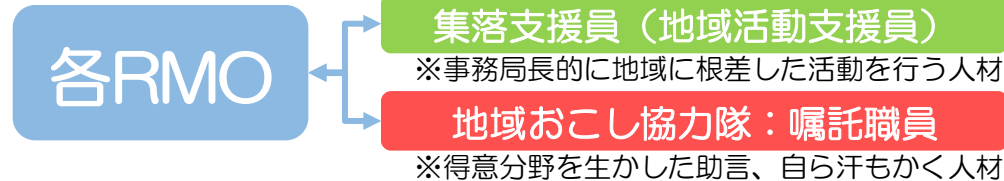
2020年度の実績報告

大洲地区自主防災連合会

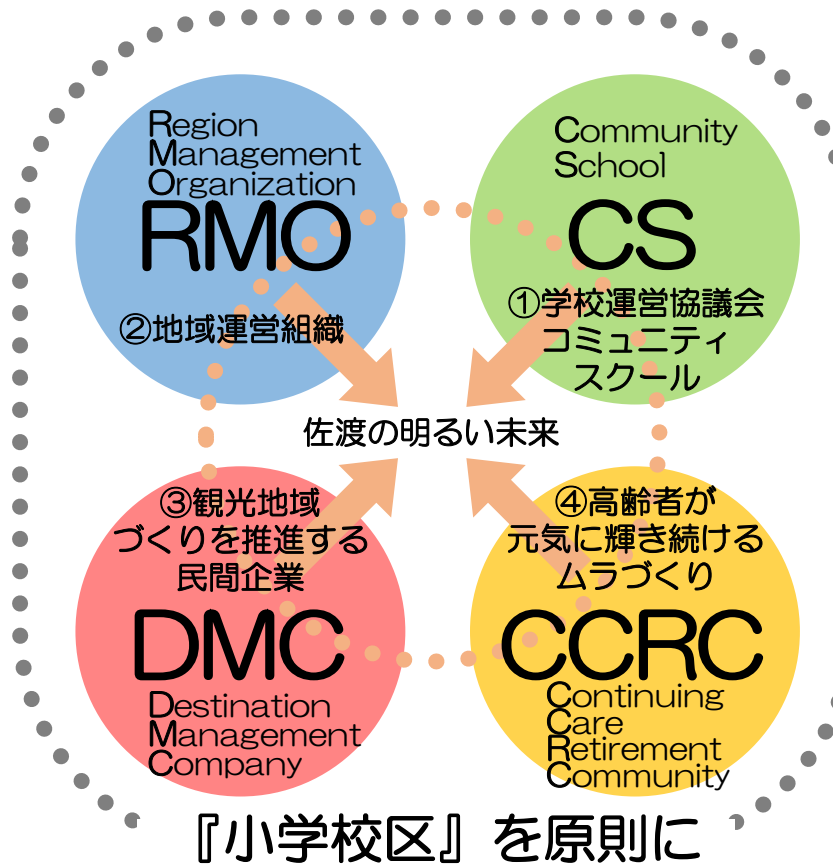
- レスキューキットBOX型
- 手回し充電ラジオソーラーパネル付き
- テント
- 移動式小型バッテリー
- 防雨型コードリール
- 卓上用ガス式グリルなど

▼小学校区単位を原則とする地域づくり①⇒②⇒③⇒④

◆佐渡市における『地域運営組織(RMO)』
 NPO法人かみえちご山里ファン倶楽部の関原剛氏
 「地域づくり公開セミナー」(2017/7/3)にて
 佐渡市の地域運営組織の適正な規模としては、
22の小学校区が最も近いイメージ。
 ⇒『学校区』を原則に地域づくりを進めるべき！

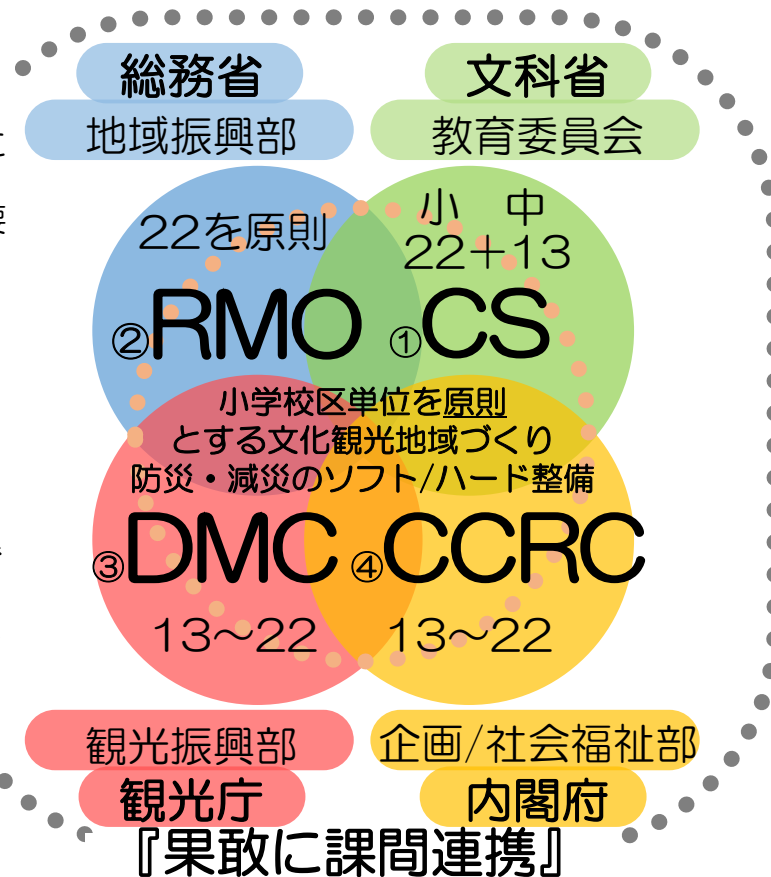


⇒『地域運営組織(RMO)』に集落支援員(地域活動支援員)と地域おこし協力隊を招聘、配置するという考え方



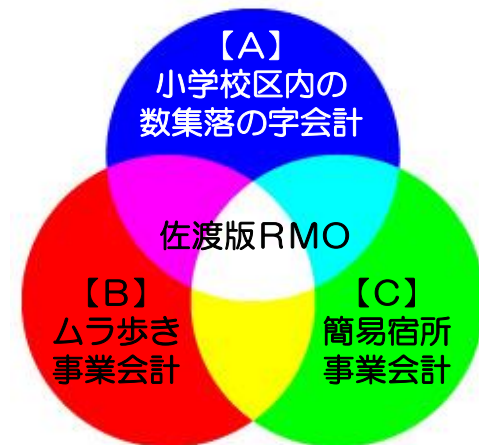
渡辺市長の答弁
 旧10カ市町村毎に
 地域が自ら考えて、
 行動することが重要

香遠教育長の答弁
 学校と地域とで
 課題解決を一緒に
 取り組むべき
 ※熟議が必要



▼ライドシェア×持続可能な文化観光地域づくり

◆島内外の方の双方にとって『小学校区』というコミュニティを大切に佐渡の集落での活動を永続的に残すことができないかと考えます。そこで、RMO（地域運営組織）〇〇小学校区応援団（仮称）を結成し、下記6点に取り組む提案です。**※団体は、NPOや一般社団法人等を想定**
⇒ライドシェアやコミュニティバスの有償運行×文化観光地域づくりの提案



- ①集落毎の字会計や各種行事案内資料の統一フォーマット化、データ化
- 【A】小学校区内の数集落の字会計（※集落情報は、集落毎で厳重に要管理）
 - 【B】ムラ歩き事業会計（集落の魅力を発掘し、ムラ歩きガイドを行う等）
 - 【C】簡易宿所事業会計（古民家を再生し、宿泊施設に活用する等）

②ムラ歩き事業⇒【B】

佐渡ヶ島（SDGs）集落ツーリズム構想実現のため、さどんぼ/あるかんか佐渡/ふれあいガイド等の取組みを各小学校区でも行う。また、有料の体験コンテンツを複数発掘し、集落の魅力を体験できるようにする。

③簡易宿所事業⇒【C】

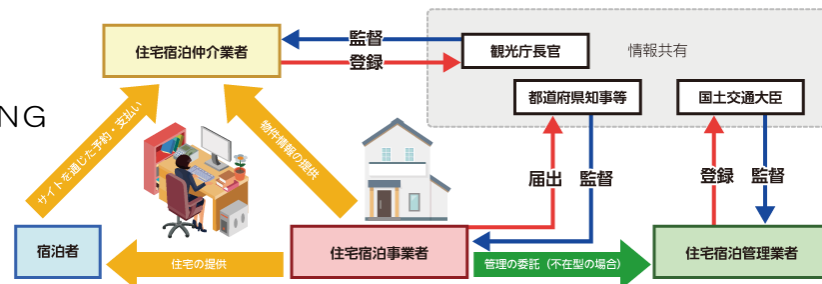
空き家利活用、古民家再生、宿泊を伴う滞在型観光を推進する。

※簡易宿所は、食材提供やケータリング（仕出し）はOK、その場で作られたお料理提供はNG

※住宅宿泊事業法（平成29年6月に成立した民泊新法）**年間提供日数の上限は180日（泊）**

④各地郷土博物館の利活用

郷土博物館機能に加え、RMO事務局の拠点としても活用する。



【出典】minpaku民泊制度ポータルサイト

⑤集落産のお土産の開発・製造・販売

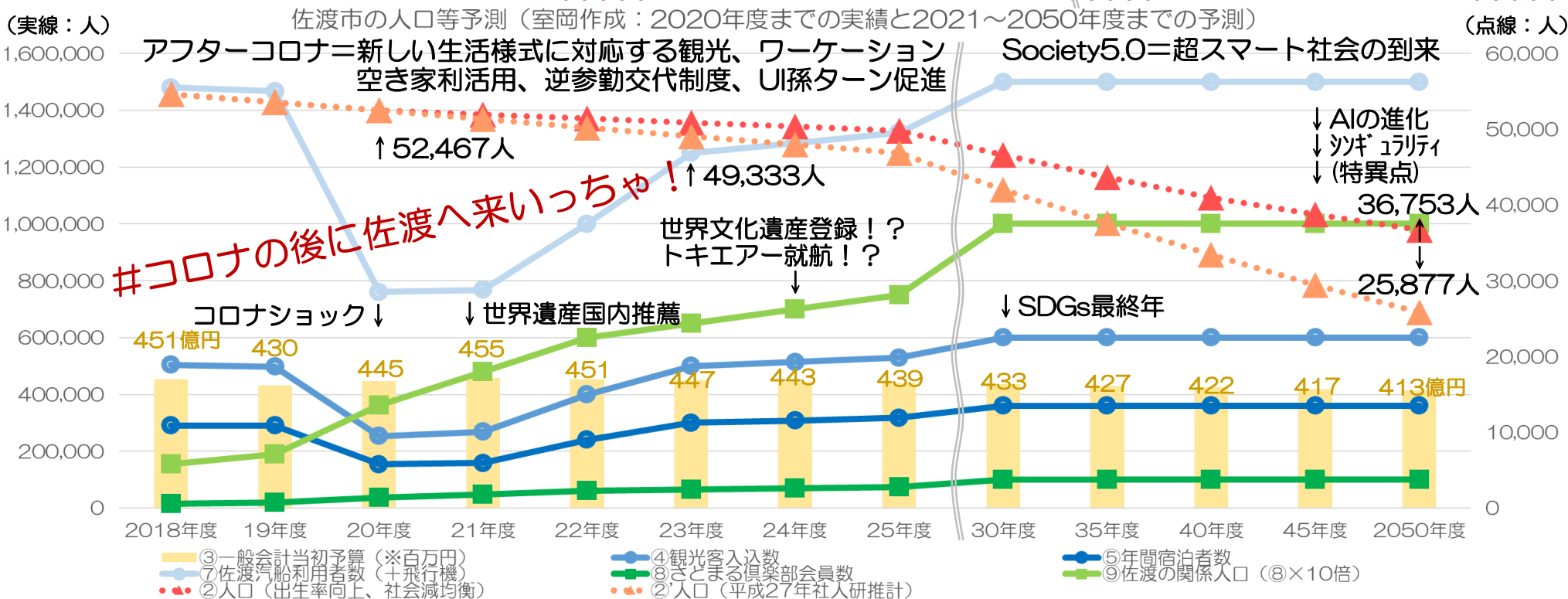
島内外の好事例を参考にお土産を開発して、民間企業推進の元で製造・販売する。※販売は、②～④等で行う。

⑥〇〇小学校をコミュニティスクールとして、地域と連携、地域づくりの拠点化や大学・企業の誘致へとつなげる

学校運営協議会制度において、総合学習（学校教育）＆生涯学習（社会教育）に取り組む。

▼佐渡の未来予測 (室岡作成：2020年度までの実績と21～50年度までの予測)

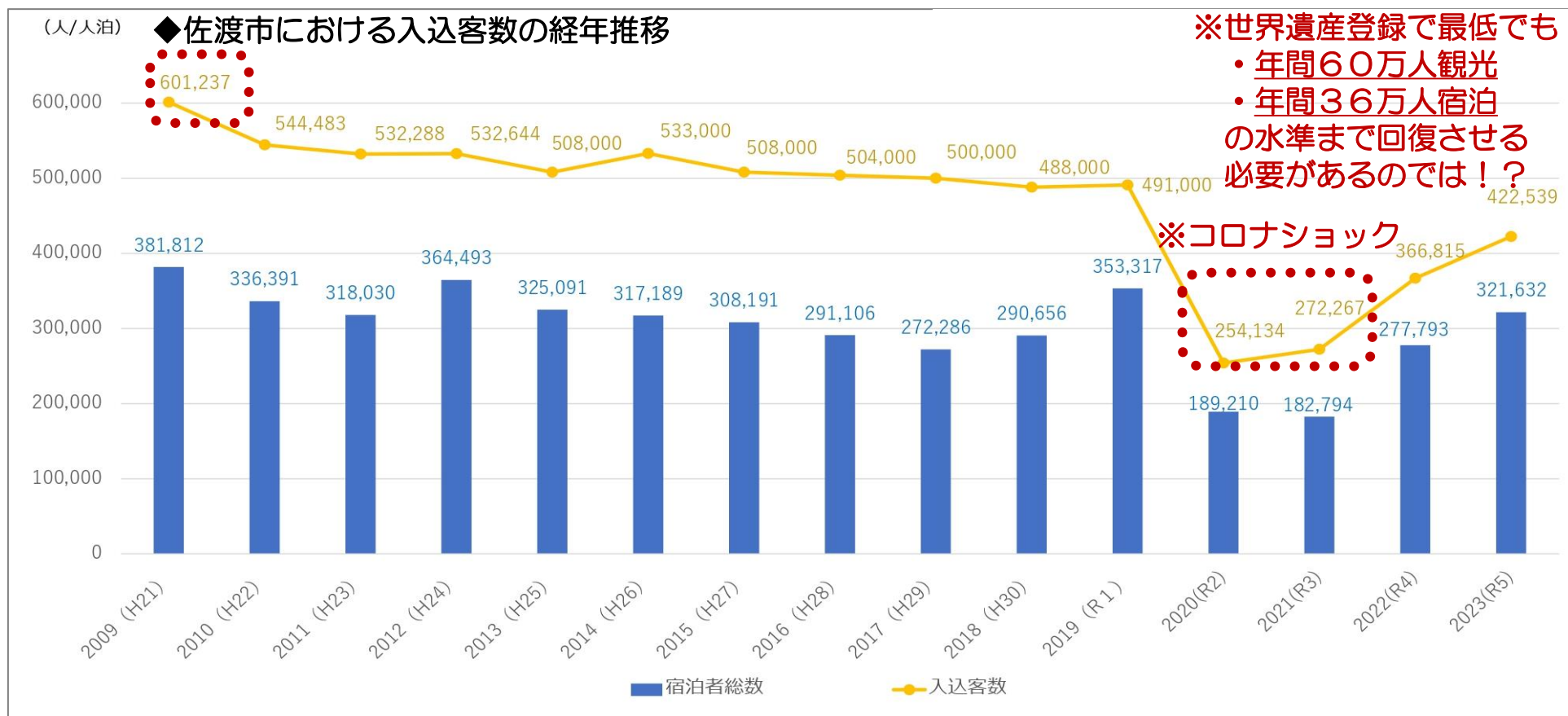
	2018年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	30年度	35年度	40年度	45年度	2050年度
①ご自身の年齢(歳)	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳
②人口(出生率向上、社会減均衡)	54,656	53,563	52,467	51,941	51,415	50,888	50,362	49,836	46,576	43,707	41,002	38,746	36,753
②'人口(平成27年社人研推計)	54,656	53,563	52,467	51,348	50,228	49,109	47,989	46,870	42,054	37,630	33,412	29,468	25,877
③一般会計当初予算(※10万円)	451,000	430,000	445,000	455,000	451,000	447,000	443,000	439,000	433,000	427,000	422,000	417,000	413,000
④観光客入込数	504,000	498,000	254,000	269,000	400,000	500,000	514,000	529,000	600,000	600,000	600,000	600,000	600,000
⑤年間宿泊者数	290,656	290,233	154,353	159,000	240,000	300,000	308,400	317,400	360,000	360,000	360,000	360,000	360,000
⑥うち訪日外国人観光客数	26,000	14,584	1,128	300	10,000	15,000	20,000	25,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000
⑦佐渡汽船利用者数(＋飛行機)	1,480,352	1,466,681	760,342	768,000	1,000,000	1,250,000	1,285,000	1,322,500	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000
⑧さとまる倶楽部会員数	15,496	19,033	36,106	48,000	60,000	65,000	70,000	75,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000
⑨佐渡の関係人口(⑧×10倍)	154,960	190,330	361,060	480,000	600,000	650,000	700,000	750,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000



▼世界文化遺産登録を好機とした観光振興を

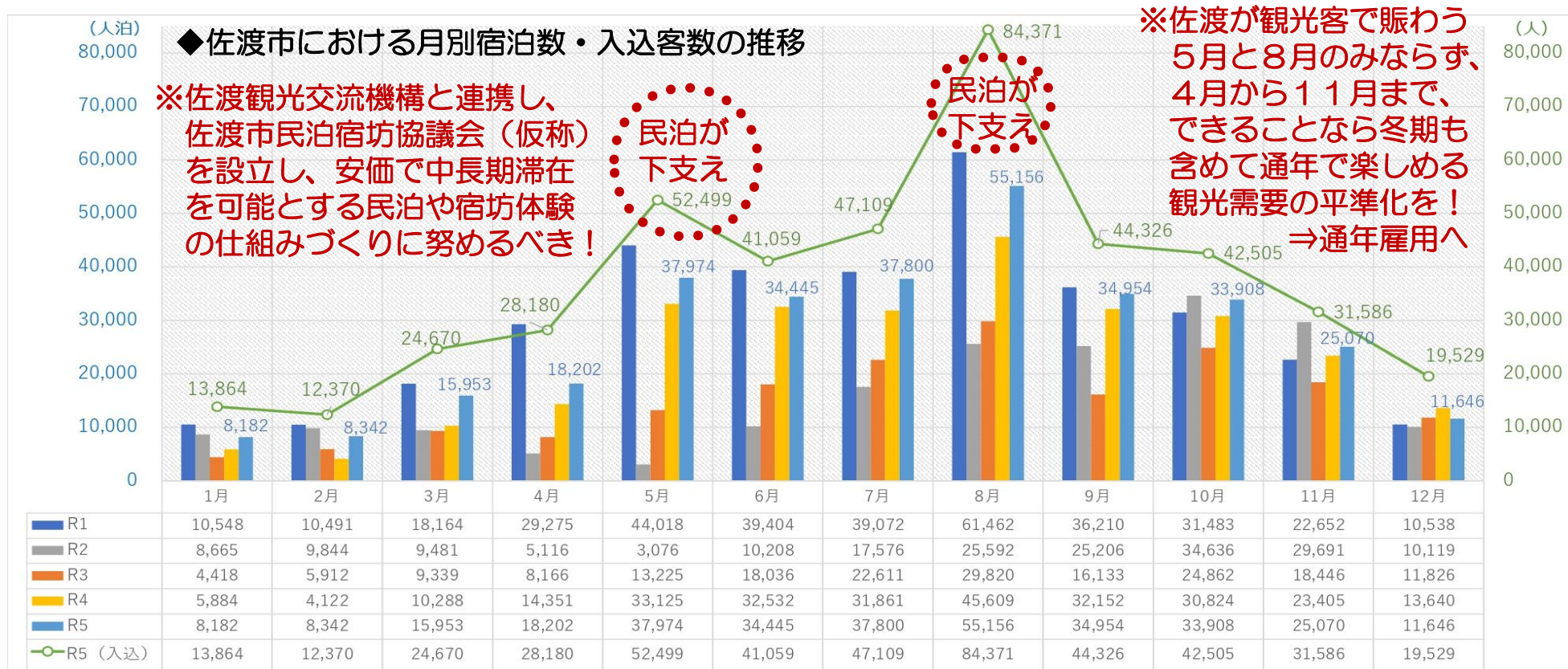
- ◆春：4月に佐渡市長・佐渡市議会議員選挙が行われ、佐渡市の最高責任者と市民の代表21名が決定！
- ◆夏：7月末にインドのニューデリーで世界遺産委員会が開かれ、「佐渡島（さど）の金山」が世界文化遺産に登録見込み。28年に渡る努力が報われ、登録が実現すれば、新潟県では初の快挙！

- ◆秋：小木町が重要伝統的建造物群保存地区に登録見込み。新潟県では宿根木以来、33年ぶり2件目の快挙！
- ◆冬：トキエアの佐渡就航、佐渡⇄新潟、佐渡⇄首都圏便の開設により、国内外からワンクッションで佐渡へとお越しいただくことが可能となり、佐渡空港周辺地域は玄関口としての活性化が大いに期待される！



【出典】佐渡市観光振興部観光振興課 佐渡観光データ調査分析業務報告書 佐渡観光旅館連盟加盟旅館延べ宿泊数（泊）
 2024年2月定例会 代表質問資料 三度のメシより佐渡が好き！！ ◎室岡ひろしと佐渡の明るい未来をつくる会

▼旅館業法の宿泊+民泊新法の民泊の推進を



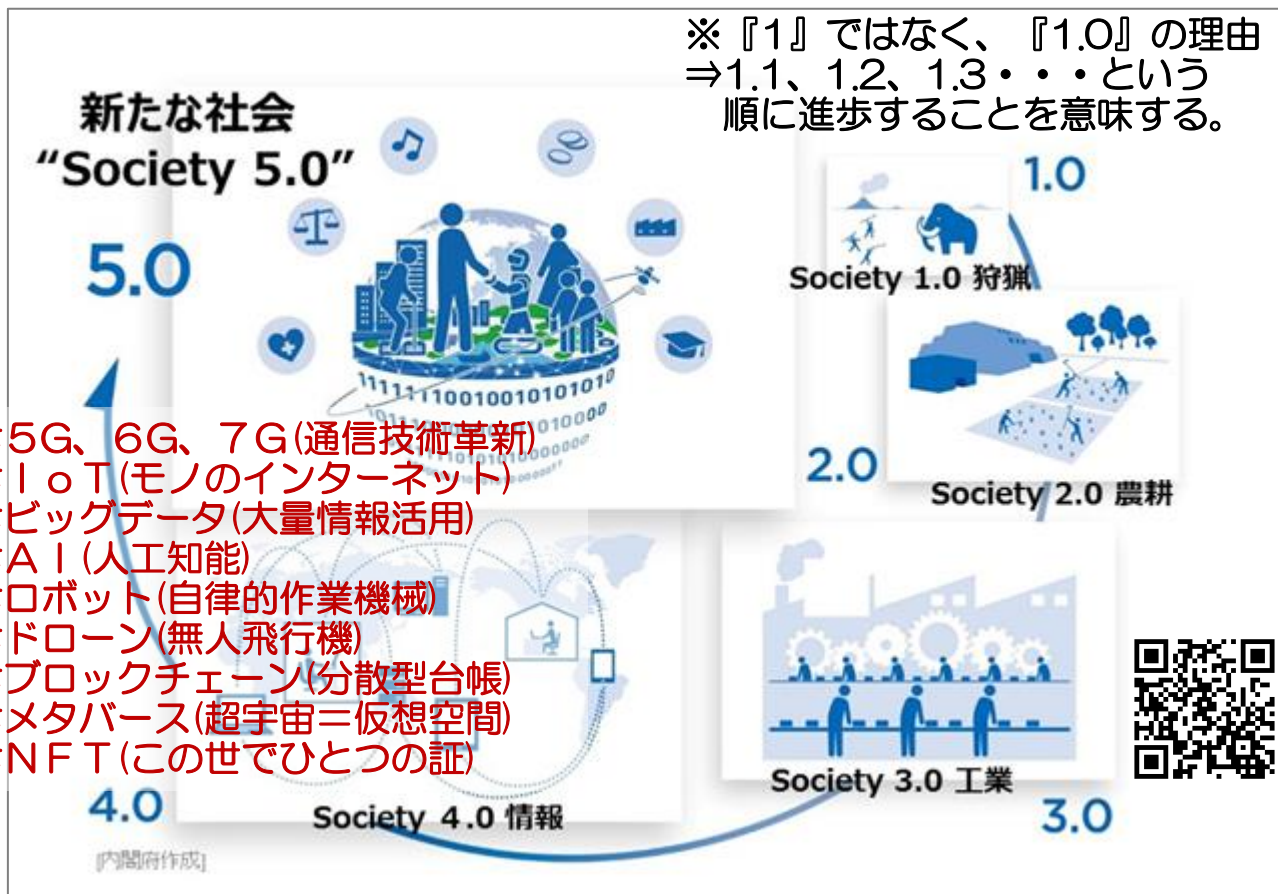
【出典】佐渡市観光振興部観光振興課 佐渡観光データ調査分析業務報告書 佐渡観光旅館連盟加盟旅館延べ宿泊数（泊）

分類	件数	客室数	収容人員	一日最大受入可能数
ホテル・旅館	105	1,415	5,202	客室数1,623室×2.5人 ※（一部屋当たりの平均利用人数（全国平均））
簡易宿所	40	208	731	
計	145	1,623	5,933	4,058

【出典】佐渡市観光振興部観光振興課 営業等実態調査により導出 宿泊施設受け入れ可能数 現在の想定数：約4,000人

◆超スマート社会、2045年にAIが人類の知性を超える！？=『技術的特異点』 ▼人類の進化のプロセス

※『1』ではなく、『1.0』の理由
⇒1.1、1.2、1.3・・・という
順に進歩することを意味する。



- #5G、6G、7G(通信技術革新)
- #IoT(モノのインターネット)
- #ビッグデータ(大量情報活用)
- #AI(人工知能)
- #ロボット(自律的作業機械)
- #ドローン(無人飛行機)
- #ブロックチェーン(分散型台帳)
- #メタバース(超宇宙=仮想空間)
- #NFT(この世でひとつの証)

【5番目の社会】
超スマート社会！？
電腦社会の到来！？
【室岡の予測】
哲学社会の到来！！
マイプロジェクト推進

- ①狩猟社会
- ②農耕社会
- ③工業社会
- ④情報社会
- ⑤〇〇社会

▼地方創生に追い風ではないか？
AI(人工知能)やスマートロボットの活躍による地方で営む一次産業の人材不足解消。首都圏でのオフィスワーカーの雇用喪失。都市⇒地方への人口の流動がおり、地方に光が落ちるのではないかと推測している。

▼一次産業～二次産業～三次産業
一次産業ほど、AIがサポート役に？
三次産業ほど、AIが取って代わる？



【出典】内閣府ホーム > 内閣府の政策 > 科学技術政策 > Society 5.0

▼究極の哲学：人は何のために生きるのか？
人は何のために学ぶのか？人は何のために働くのか？人類はどこから来たのか？この世は誰がつくったのか？神は存在するのか？ヒマが生まれることで、人は問を立てて考える必然性が今よりも強くなるのではないか？

【出典】エン転職『二次産業って？』

▼SDGs 未来都市 佐渡が進める「離島創生」



◆SDGsとは・・・

持続可能な開発目標のことで、Sustainable Development Goalsの略。2015年に国連本部で日本を含む193の加盟国の合意の下で採択された「世界を変革するための17の目標と169のターゲット」のこと。持続可能性を地球規模で考えた時に、非常に重要な目標であり、産官学金労言連携により、2030年までSDGsの推進に一丸となって力をいれて取り組んでいる状況にある。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



◆佐渡ヶ島のクロスワードパズル



【出典】国際連合広報センター「SDGs」ガイドライン

◆2022年5月20日に佐渡市がSDGs未来都市に選定！

人が豊かにトキと暮らす黄金の里山・里海文化、佐渡～ローカルSDGs佐渡島、自立・分散型社会のモデル地域を目指して～
⇒島の文化が環境・経済・社会を刺激し合う基盤を創っていく

- ①SDGs（持続可能な開発目標）ツーリズム
- ②DX（デジタルトランスフォーメーション）
- ③GX（グリーントランスフォーメーション）

佐渡ヶ島こそ推進すべし!!!

◆佐渡市地域循環共生圏の創造による

持続可能な島づくり推進条例の制定について

SDGs 未来都市等に選定された自覚を深め、多様なパートナーシップのもと、島全体でSDGsを推進し、自然豊かな佐渡の特徴や地域資源を有効活用しながら歴史・文化と環境・経済・社会を循環させ、持続可能な島づくりを実現していくための共通の指針として、条例を制定するもの。（※議案一覧より転載）

SDGs 未来都市佐渡オリジナルロゴマークを決定しました

佐渡市では、令和4年5月に内閣府からSDGs未来都市に選定されるなど、誰もが安心して暮らせる島づくりの実現を目指しています。

このような取組を推進するにあたり、佐渡市におけるSDGs未来都市をテーマに未来の佐渡市を想起させるオリジナルロゴマークのデザインを募集したところ、全国から142件の応募をいただきました。市民投票等を経て総合的に審議を行った結果、下記作品をSDGs未来都市佐渡オリジナルロゴマークに決定いたしました。



SDGs未来都市
佐渡市



佐渡SDGsパートナー
Sado SDGs Partner

SDGs未来都市
佐渡市

団体名
認定日 令和 4 年 12 月 2 日
佐渡市

佐渡産木材を活用した盾



佐渡SDGsパートナー

持続可能なまちの実現に向けて、佐渡市とともにSDGsの取り組みを実施していただける企業、NPO、団体の方々を募集します！

パートナーとして登録されるとこんなメリットが

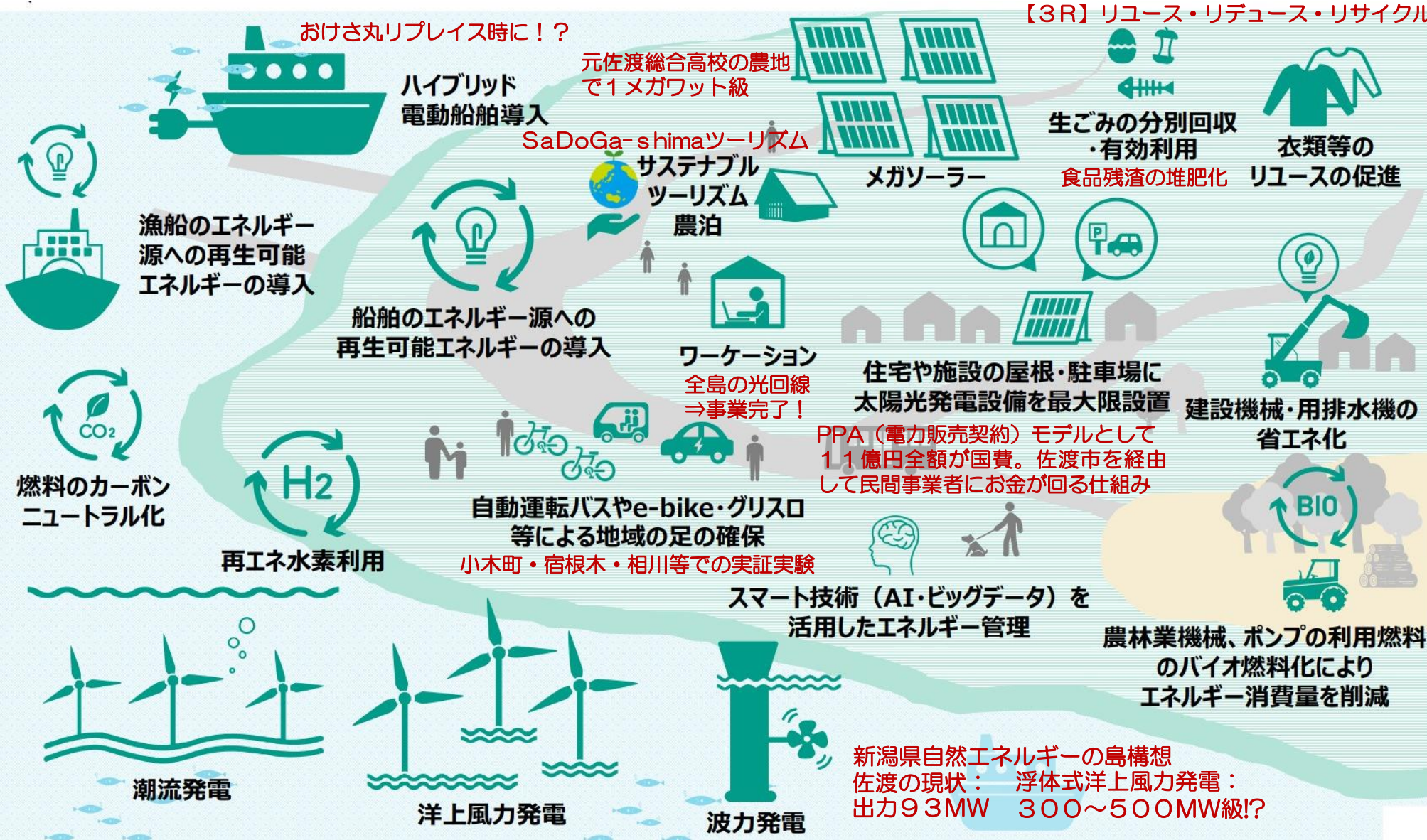
- ・市のホームページで、SDGsの取り組みをPRでき、企業イメージや信頼性の向上、社員の意識向上、人材確保に効果が期待できます！
- ・パートナー同士の情報交換・連携をサポート！
- ・「佐渡市SDGsパートナー」認定証を交付します！

お問合せ・お申込み
佐渡市 企画財政部 総合政策課
TEL 0259-63-3802
E-mail : kikaku@city.sado.niigata.jp

【出典】SDGs 未来都市佐渡オリジナルロゴマークを決定しました
<https://www.city.sado.niigata.jp/soshiki/2005/47048.html>

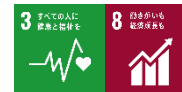
【出典】佐渡SDGsパートナーの募集について
<https://www.city.sado.niigata.jp/soshiki/2005/41476.html>

▼脱炭素先行地域【離島モデル】



【出典】地域脱炭素ロードマップ【概要】の離島モデルに加筆 https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/datsutanso/pdf/20210609_chiiki_roadmap_gaiyou.pdf

▼健康寿命日本一と未病（みびょう）の島づくり



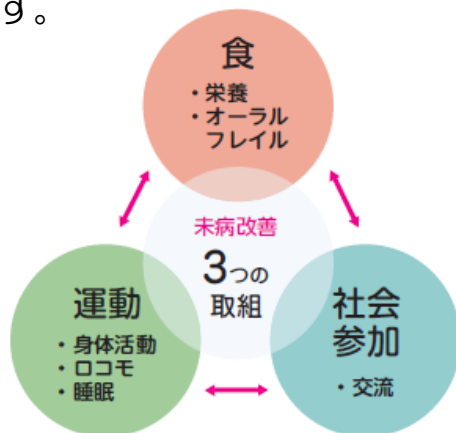
◆未病（みびょう）の島づくりの必要性

未病とは東洋医学の概念であり、健康と病気の間を連続的に変化する状態を表す言葉。日常の生活において未病改善により、健康な状態に近づけていくことが大切です。

黒岩祐治神奈川県知事は、超高齢化社会を乗り切るための政策「ヘルスケア・ニューフロンティア」を世界に向けて発信中。国家戦略特区に全国で唯一、全県域が対象として指定され、最先端医療の追求や未病を改善する取り組み、介護・医療など生活支援ロボットの実用化などを強力に推進しております。

加えて、未病産業の創出や、神奈川県が運営する無償のスマートフォン用アプリ「マイME-BYOカルテ」によって、「未病指標」を簡単に測定可能にしたり、まさに強い推進力をもって健康寿命延伸に向けての努力が大いに見られるところです。

超高齢社会の島、佐渡ヶ島 (SaDoGaShiMa) においても新潟県や神奈川県とともに産官学連携を進めていくことで、未病（みびょう）の島づくりを推進すべきと考えます！



▼「健康寿命日本一の島」について

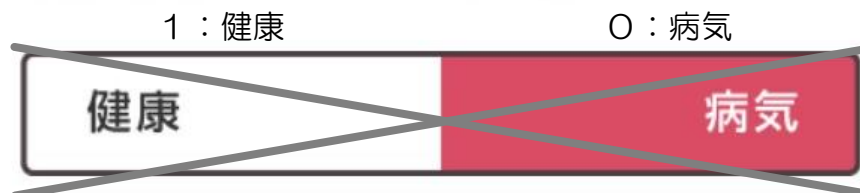
健康寿命の定義や算定方法によって異なりますが、都道府県別では山梨県や愛知県などが全国トップクラス、新潟県は10位前後というのが現状。下記、健康寿命。

【全国】男性79.6歳、女性84.0歳

【新潟県】男性79.3歳、女性83.8歳 令和元年度

【佐渡市】男性78.0歳、女性82.8歳 国保ベース

明確に区別できるものではない

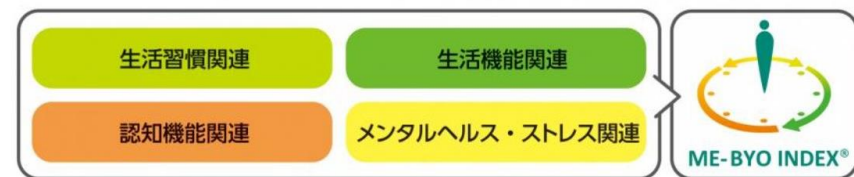


健康と病気の間を連続的に変化する状態が「未病」

100：超元気◎ ←50→ 0：死亡



←未病改善



【出典】神奈川県ホームページ：「マイME-BYOカルテ」とは